



要望書

成田空港を核としたまちづくり
に対する財政支援等について

成 田 市

厳寒の候、貴職におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、成田市（以下「本市」という。）は、開港以来、日本の空の表玄関である成田空港を擁する自治体として、増大する国際航空需要に対応するため、段階的な航空機の年間発着枠の拡大、滑走路の延伸や新設など空港機能の強化に理解を示し、最大限協力するとともに、騒音地域における航空機騒音対策や地域振興に努めてきたところであります。

また、成田空港では昨年5月に滑走路の新增設に係る本格工事が始まるなど、年間発着容量50万回に向けての機能強化が成田空港「第2の開港プロジェクト」として着実に進められている中、同年6月には空港と周辺地域との一体的な発展を目指す成田空港「エアポートシティ」構想が四者協議会において合意されるなど、成田空港を核としたまちづくりは、新たな段階に移行しております。

本市においては、我が国の国際競争力の強化や地域の活性化を図るため、成田空港を核とした国際的な物流・産業拠点等の形成に向けて取り組むとともに、成田空港のプラスの効果が騒音地域にも及ぶよう、地域振興策を推進していくことが求められております。

現在、アジアの主要空港では熾烈な空港間競争に伴い、空港本体の機能強化はもとより、アクセスの向上や空港周辺地域への物流・産業拠点の形成等についても、国の主導により大規模な開発等が国家プロジェクトとして強力に推進されております。

一方、成田空港においては国家プロジェクトとして進められてきたものの、建設時をめぐる歴史的経緯から、

開港以来、空港周辺地域における開発は部分的なものにとどまっております。将来に向かって地域と空港との相互連携により一体的・持続的に発展していくためには、国の積極的な支援が必要です。

本市では、かねてより国家戦略特区による規制緩和に取り組むとともに、成田空港の更なる機能強化に伴う新たな開発需要や人口増加等に対し、空港周辺地域における開発許可基準の見直しや土地利用規制の緩和など、企業立地の受け皿確保策を積極的に展開するとともに、土地区画整理事業を活用した新たな産業・住宅用地の形成、更には新たな幹線道路の整備により東関東自動車道をはじめとした広域道路ネットワークとの連携強化など、将来を見据えたまちづくりについて、主体的に進めてきたところであります。

本市としましては、第2の開港と言われる現在こそ、成田空港が有するポテンシャルを最大限に生かしつつ、空港周辺地域の均衡ある発展を目指す絶好の機会と捉えておりますが、国際的な物流・産業拠点の形成や良好な住環境の整備などを支える都市基盤整備に当たりましては、膨大な財政負担と時間を要することが見込まれております。

このことから、成田空港を核としたまちづくりの実現に向けては、都市基盤整備に係る新たな財源を確保することは喫緊の課題であります。

以上の状況等を踏まえ、これまで本市が成田空港の発展に苦渋の決断の上、最大限協力してきた経緯や成田空港が掲げる「空港づくりは地域づくり」という共生・共栄の理念に基づき、本市のまちづくりへの財政措置を含めた積極的な支援について、下記のとおり要望いたします。

記

- ・成田空港周辺地域における都市基盤整備等に係る補助制度の新設・拡充及び弾力的運用
- ・成田空港周辺地域における地域振興策等に係る財政措置を含めた支援

令和8年1月19日

国土交通大臣 金子 恭之 様

成田市長 小泉 一成



